

お墓にまつわる悩みを解消するヒントが見つかりそう

6月8日(水)・11日(土)午前10時～正午、樹木葬についてのセミナーを開催

参加無料・先着各30人 6月15日(水)・18日(土)には現地見学会が実施されます

京都リビング新聞社

<http://kyotoliving.co.jp/>



「両足院」の樹木葬地



東福寺塔頭「即宗院」の「自然苑(しねんえん)」

「お墓を守る跡継ぎがない」「遠くてなかなかお参りできない」「あまり費用がかけられない」。お墓について悩みや不安を抱えている人は多いかもしれませんね。

こうした声に答え、最近ではさまざまな形態のお墓がつくられています。樹木葬もその一つ。樹木や花を植えて墓標とし、遺骨は杉コケなどに覆われた区画に埋葬する方法です。お墓の継承を心配し、樹木葬の生前予約する人が多いのと同時に、また、故郷にある墓地を任せる親戚がいなくなったため、樹木葬に変更したいという希望もあるといわれています。

通常の墓地と同じようにお参りもできますよ。希望により石碑に名前を刻むことも可能です。

疑問点はセミナーで気軽に尋ねて

京都リビング新聞社では、6月8日(水)・11日(土)に「お墓の悩み解消・樹木葬セミナー」を開催します。時間は両日とも午前10時～正午。どちらか都合のいい日を選んで。参加無料・先着各30人。

講師は葬送やお墓の問題に詳しい樹木葬事務局代表・山崎譲二さん。多く寄せられるというお墓の悩みを紹介し、解決策をアドバイスしてくれま。樹木葬の仕組みもわ

かりやすく解説。質問もOKなので、気になることがあったら尋ねてみては。

6月15日(水)・18日(土)には、セミナー参加者を対象とした現地見学会を実施します。希望者はセミナー当日に申し込みを。見学会では樹木葬を行う4つの寺院の塔頭(たっちゅう)を巡ります。訪れるのは、紅葉で有名な東福寺の「莊嚴院」「即宗院」、建仁寺の「両足院」、紫野にある大徳寺の「正受院」。

いずれの寺院も宗派を問わず永代供養をしてくれるので、継承者の心配はいりません。費用も、各寺で墓石のあるお墓を建てるよりも抑えられるそう。交通の便もよく、親戚や家族がお墓参りをしやすい点も好評です。

セミナーの申し込みはホームページか電話で。左記の2次元コード(<http://bit.ly/jyumoku> (sou201606))からも受け付けています。

＜セミナー申込締め切り＞5月31日(火)※参加者には後日、案内状が送付されます

＜セミナー会場＞京都リビング新聞社5階A教室
＜申し込み・問い合わせ＞京都リビング新聞社(中京区蛸薬師通高倉西入ル南側) ☎0120(641)165。午前10時～午後6時(土日祝除く)



読み取り可能な場合、QRコードを利用できます。機種によっては読み取りできません。

